

# 肺癌の病期分類 (TNM分類第8版)

T因子*		N因子	N因子：リンパ節転移の有無				M因子：遠隔転移の有無		
		M因子	リンパ節 転移なし	同側の 気管支 周囲にあ り	同側の 縦隔に あり	鎖骨、首の筋肉、 反対側の縦隔や 肺門にあり	反対側の肺、胸膜、 心膜の腫瘍。 胸水、心嚢水	単発の 遠隔転移 (肺以外)	多発の 遠隔転移 (肺以外)
			遠隔転移なし (M因子)				リンパ節転移は問わない (N因子)		
T 因子 : 癌の 大き さ	≦ 1cm	I A1	II B	III A	III B	IV A	IV B		
	> 1cm	I A2							
	≦ 2cm	I A3							
	> 2cm	I B	III A	III B					
	≦ 3cm	II A							
	> 3cm	II B							
	≦ 4cm	III A	III B	III C					
	> 4cm	II A							
	≦ 5cm	II B							
> 5cm	III A	III B	III C						
≦ 6cm	III A								
> 6cm	III A								

※T因子の分類には、癌の大きさのほかに、周囲の組織・臓器への浸潤の程度も考慮されます。

# 癌の大きさや広がりによる分類

## 癌の大きさや広がりによる分類(T因子)

T1 : 癌の大きさ ≤ 3cm

T1a : 大きさ ≤ 1cm かつ上皮内癌や微小浸潤性腺癌ではない

T1b : 大きさ > 1cm かつ ≤ 2cm

T1c : 大きさ > 2cm かつ ≤ 3cm

T2 : 大きさ > 3cm かつ ≤ 5cm、または 3cm ≤ でも以下のいずれかであるもの

- ・主気管支に及ぶが気管分岐部には及ばない

- ・臓側胸膜に浸潤

- ・肺門まで続く一部か片側全体の無気肺・閉塞性肺炎

T2a : 大きさ > 3cm かつ ≤ 4cm

T2b : 大きさ > 4cm かつ ≤ 5cm

T3 : 大きさ > 5cm かつ ≤ 7cm、または ≤ 5cm でも以下のいずれかであるもの

- ・壁側胸膜、胸壁、横隔神経、心膜に浸潤

- ・同じ肺葉内に転移した癌細胞がある

T4 : 大きさ > 7cm、または大きさを問わず以下のいずれかであるもの

- ・横隔膜、縦隔、心臓、大血管、気管、反回神経、食道、椎体、気管分岐部に浸潤

- ・同側の他の肺葉に転移した癌細胞がある

T因子※		N因子	N因子 : リンパ節転移の有無				M因子 : 遠隔転移の有無		
			リンパ節 転移なし	同側の 気管支 周囲に あり	同側の 縦隔に あり	鎖骨、首の筋肉、 反対側の縦隔や 肺門にあり	反対側の肺、胸膜、 心膜の腫瘍。 胸水、心嚢水	単発の 遠隔転移 (肺以外)	多発の 遠隔転移 (肺以外)
			遠隔転移なし(M因子)				リンパ節転移は問わない(N因子)		
T1a	T 因 子 : 癌 の 大 き さ	≤ 1cm	I A1				IV A	IV B	
T1b		> 1cm ≤ 2cm	I A2						
T1c		> 2cm ≤ 3cm	I A3	II B	III A	III B			
T2a		> 3cm ≤ 4cm	I B						
T2b		> 4cm ≤ 5cm	II A						
T3		> 5cm ≤ 6cm	II B	III A	III B	III C			
T4		> 7cm	III A						

※T因子の分類には、癌の大きさのほかに、周囲の組織・臓器への浸潤の程度も考慮されます。

# リンパ節転移や遠隔転移の有無による分類

## リンパ節転移の有無による分類(N因子)

N0: 所属リンパ節に転移なし

N1: 同側の気管支周囲(肺門や肺内)のリンパ節に転移あり

N2: 同側の縦隔(気管分岐下を含む)のリンパ節に転移あり

N3: 鎖骨や首の筋肉、反対側の縦隔や肺門のリンパ節に転移あり

## 遠隔転移の有無による分類(M因子)

M0 : 遠隔転移なし

M1 : 遠隔転移あり

M1a: 反対側の肺、胸膜、心膜に転移した癌細胞がある。癌による胸水(同側、反対側)、心嚢水がある

M1b: 肺以外の1つの臓器への単発の遠隔転移あり

M1c: 肺以外の1つまたは複数の臓器への多発の遠隔転移あり

T因子*		N因子 : リンパ節転移の有無				M因子 : 遠隔転移の有無		
		リンパ節 転移なし	同側の 気管支 周囲に あり	同側の 縦隔に あり	鎖骨、首の筋肉、 反対側の縦隔や 肺門にあり	反対側の肺、胸膜、 心膜の腫瘍。 胸水、心嚢水	単発の 遠隔転移 (肺以外)	多発の 遠隔転移 (肺以外)
		遠隔転移なし(M因子)				リンパ節転移は問わない(N因子)		
T 因子 : 癌 の 大 き さ	≤1cm	I A1						
	>1cm	I A2						
	≤2cm	I A3	II B	III A	III B	IV A	IV B	
	>2cm	I A3						
	≤3cm	I B						
	>3cm	I B						
	≤4cm	II A						
	>4cm	II B	III A	III B	III C			
	≤5cm	II B						
>5cm	II B							
≤6cm	III A							
>6cm	III A							
>7cm	III A							

※T因子の分類には、癌の大きさのほかに、周囲の組織・臓器への浸潤の程度も考慮されます。

# 肺癌の転移

## 非小細胞癌が転移しやすい場所

- 転移した病変によってさまざまな症状が現れます。症状がなく画像検査ではじめて見つかる転移もあります。
- 診断時点で、複数の臓器に遠隔転移が見つかることもあります。

